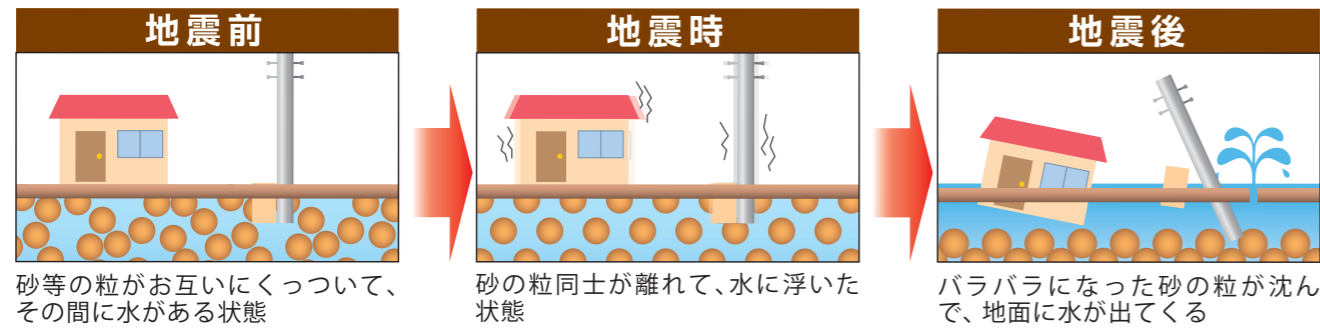


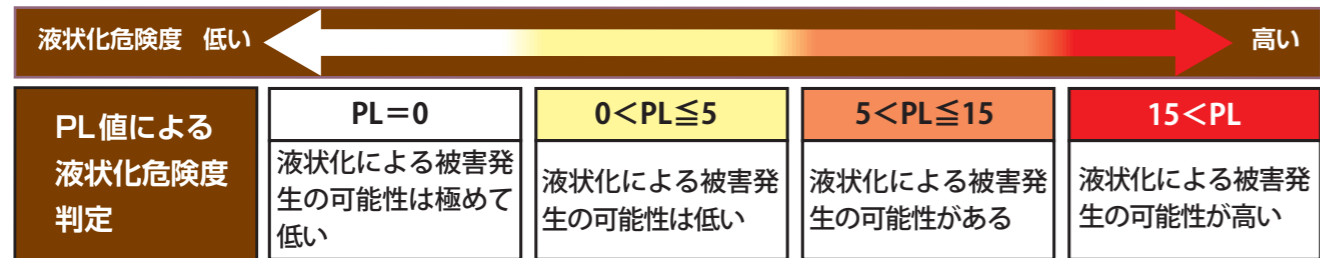
2-5 液状化について

ゆるく堆積した砂地盤などは地震により激しく揺れると、まるで液体のように一時的にやわらかくなり、今までしっかりと建物を支えていた地盤が地震による揺れを受けることで液体のようになり、建物が傾いたり沈んだりし、大きな被害をもたらします。

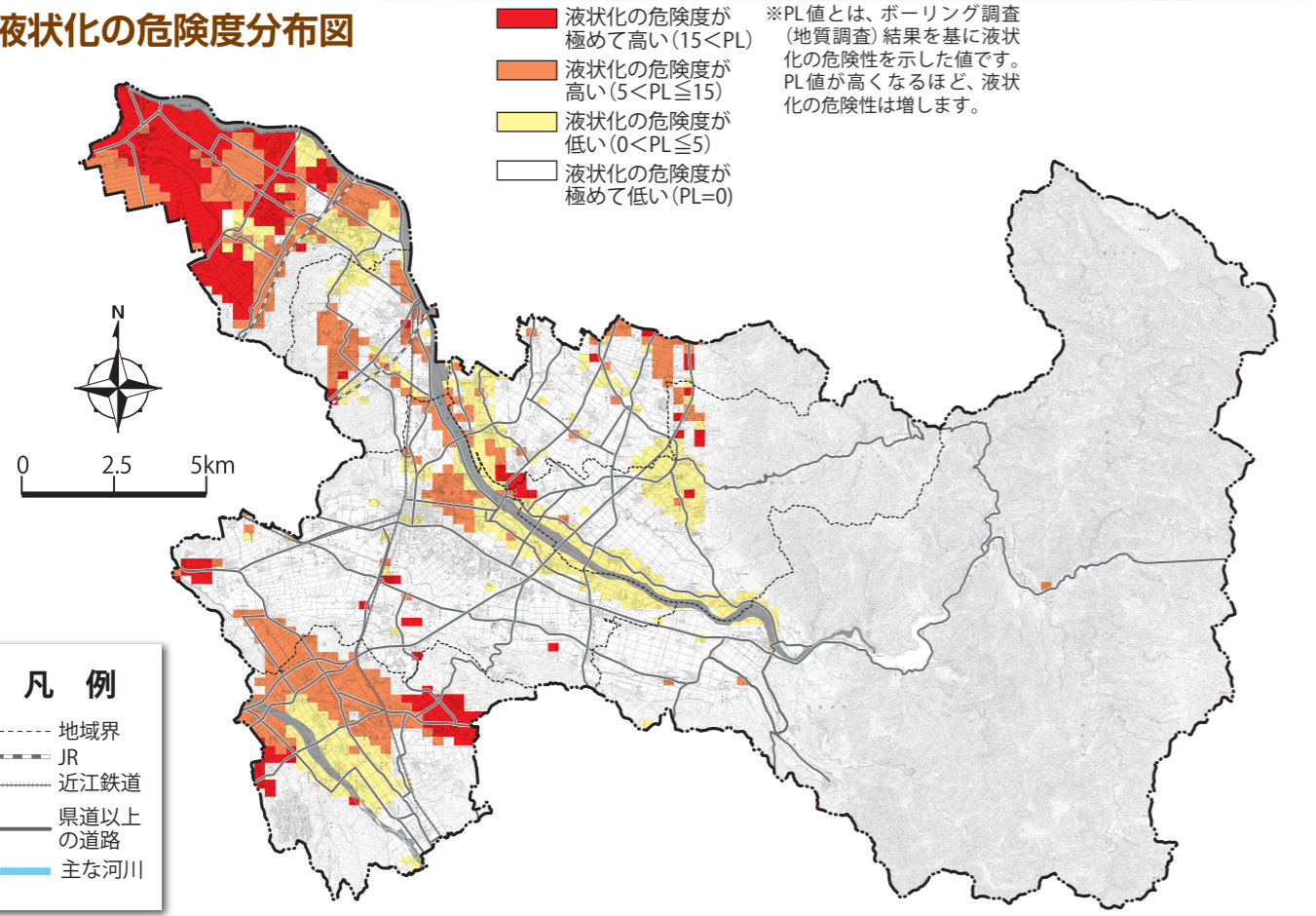
液状化の仕組み



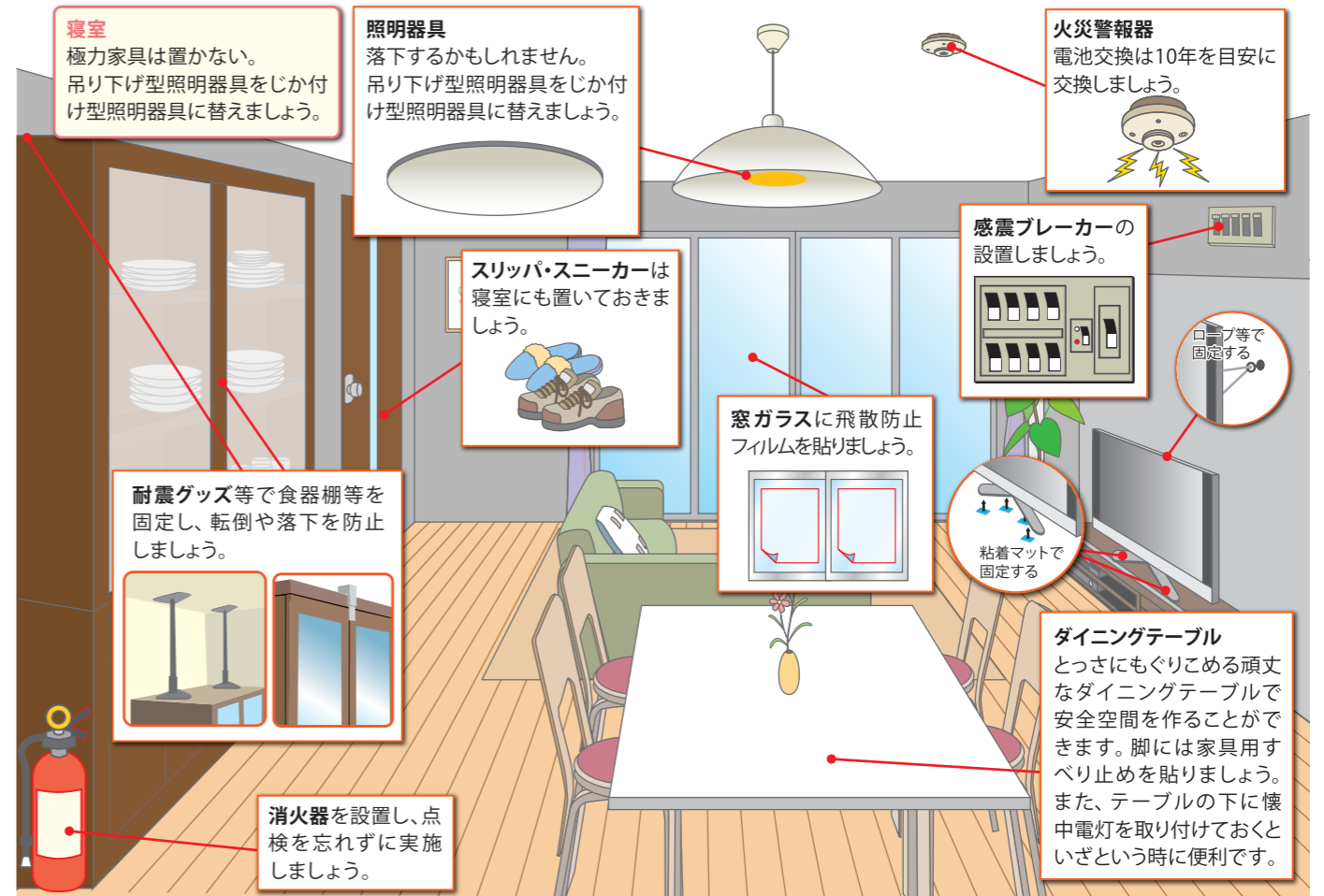
液状化危険度の判定区分



液状化の危険度分布図



2-6 普段から地震に備えましょう



家の耐震性を確認し、耐震化を行いましょう!

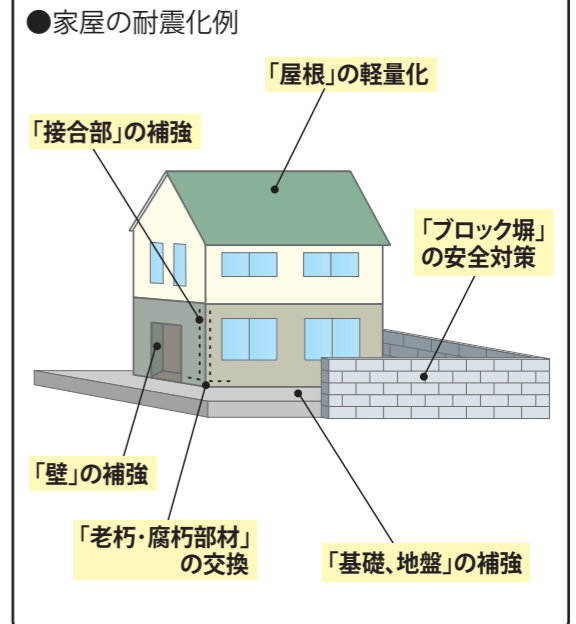
古い建物(特に昭和56年以前に建てられた建物)やブロック塀は、地震の被害を受けやすい傾向があります。そのため、古い建物等が多い地区では危険度が高くなっていることがあります。

●市の耐震事業も活用し、自宅の耐震診断や耐震補強、ブロック塀の安全対策を行いましょう。

- 木造住宅無料耐震診断(昭和56年5月以前着工の木造家屋)
 - 木造住宅耐震・バリアフリー改修事業費の補助金
- お問合せ先:都市整備部住宅課
(電話:0748-24-5669)

- ブロック塀等耐震対策事業費の補助金(避難路に面する危険なブロック塀の撤去又は改修)
- お問合せ先:都市整備部建築指導課
(電話:0748-24-5656)

- 個人木造住宅への耐震シェルターなどの普及事業
- お問合せ先:総務部防災危機管理課
(電話:0748-24-5617)



※ 制度には対象となるための要件があります。事前に各お問合わせ先にご相談ください。